



1.びっしりと保管されているのは、製品に文字やマークを印刷するための印版。デザインごとに手作業で版を作っている 2.貼合ライン。ロール状の原紙から、波状の紙をはさんだ3層構造のダンボールシートができる 3.各自真剣に作業をしながらも、工場内はなごやかな雰囲気。スタッフ同士の密接なコミュニケーションがミスを防ぐ 4.製造現場では女性も多く活躍。パートスタッフ等を含めると約半数が女性だそう 5.木型を修理しているところ。木型とは、円筒状の土台板に刃を取り付けたもので、これを回転させてシートを打ち抜き切断する



企業体験後

Real Voice



今回企業体験をしてみて感じたことは?

工場の仕事は単純作業が多いイメージでしたが、実際はまったく違い、たくさんの業務があることにおどろきました。それぞれが自分の責任を果たし、力を合わせてひとつの製品を作り上げるというのが魅力だ。

世代や担当を超えて助け合う職場環境。事務所に戻り、受注業務や経理事務を担う管理部の仕事を見学。女性ばかりの部署で、パソコンに向かい集中して業務をこなす姿を見て、久内さんは「落ち着いて働ける感じがいいですね」と笑顔を見せる。そして、体験の終わりに若手の先輩社員とのトークタイムが設けられ、久内さんもリラックスした様子で、社内の雰囲気など気になる点を質問。先輩社員からは「みんなやさしい方ばかりで楽しいですよ」「わからないことはなんでも教えてもらえますよ」といった返答が聞かれた。またどの部署でも、忙しそうながいれば手の空いた人が自然と手伝うムードがあるといい、みんなで協力して定時退社できるようにしているそう。オンオフのメリハリをつけて、気持ちよく働ける環境が整っているのが魅力だ。

大善株式会社はこんな会社!



品質保証部 秋庭佳典さん

ダンボール製造で県内有数の生産規模を誇る企業です。今、力を入れて取り組んでいるのは「多能工化」。ひとりが複数の業務を担当できるようになることで、現場の対応力が増すとともに、急な休みなどもこれまで以上に取りやすくなりました。若い社員もびのびと活躍できる、風通しのよい職場です。



だいぜん 大善株式会社

岡山市北区撫川1513
TEL.086-293-5111
http://www.daizen.biz/

企業体験前

Real Voice



- Q 企業体験をしたいと思ったきっかけは?
- A まだ志望業種が決まっていなくて、いろいろな業種を見てみたいと思いました。
- Q 大善株式会社のどんなことを知りたいですか?
- A 製造業についてあまり知識がないので、現場の仕事内容や雰囲気を知りたいです。

山陽学園大学 総合人間学部 3年生 久内沙月さん

自社一貫製造体制で多品種・小ロットに対応。

日常の暮らしや企業活動のさまざまなシーンで、欠かせない役割を果たしている「ダンボール」。『大善』は、このダンボールの製造メーカーとして60年の歴史を持つ企業だ。今回こちらで企業体験に参加したのは、山陽学園大学3年生の久内沙月さん。まずはダンボール業界と会社の概要について、採用・広報担当の秋庭さんからレクチャーを受けた。ダンボールは軽くて強く、またリサイクル率が非常に高いことが特長。物流の現場で必ず使われるものであるため、時代の変化や景気の動向に左右されにくい、安定した業界だという。そのなかで同社は、製品の開発から製造、販売までの自社一貫体制を強みとし、岡山県内トップランクのシェアを誇る。

海外の同業者も注目するハイレベルな製造設備。

座学で充分に基礎知識をつけてから、いよいよ工場へ。工場は、ロール状の原紙から3層構造のダンボールシートを作る「貼合」と、印刷・切断のり貼りなどの加工を行い製品に仕上げる「製函」の工程に大きく分かれる。工場内では、長さ60メートルにもなる2台の巨大な「貼合機」をはじめ、たくさんの機械が稼働。工程ごとに数かずつ配置されたスタッフが、ミスがないか何重にもチェックして次の工程へと送り出している。また別室では、印刷用の版や、切断に使う木型を製作。「こういったものは専門業者に外注することが多いのですが、こちらはすべて自社内で作れるため、急な修正やトラブルにもすばやく対応できるんですよ」と、秋庭さんは説明する。

企業体験のPoint!

- Point1 業界の概要を解説!
- Point2 ダンボールの製造工程をくまなく見学!
- Point3 若手社員との座談会!